



**UNITED NATIONS  
UNIVERSITY**

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京渋谷区神宮前5 53 70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

2005年10月27日  
MR/J34/05

メディア用原稿  
非公式記録

## 11月9日(水)ノーベル物理学賞受賞者による 第11回ウ・タント記念講演「新しい時代」

**演題：** 「新しい時代」  
**講演者：** ロバート B. ラフリン博士 (1998年度ノーベル物理学賞受賞者)  
**日時：** 11月9日(水) 午前10:45～正午 (受付開始：午前10:15)  
**場所：** UNハウス3階 ウ・タント国際会議場  
**主催：** 国連大学、国連大学高等研究所及び日本学会会議  
**支援：** 読売新聞

### (概要)

ラフリン博士は、構成要素に還元するのではなく、構造全体を研究することを強調することにより、対象を巨視的に見る革命的な見方である、新しいセオリーについて講演します。この新しい考え方は、合成物の物理的性質は、それを構成する個々の粒子の性質よりもむしろそれを構成するたくさんの粒子の組織の在り方に依存することを主張するものであり、これは、科学の将来に多大の意味を持つものです。

「ウ・タント記念講演会」シリーズは、各国の有識者や指導者を招き、世界の人々や国家が直面する問題について講演するシリーズです。これまでに、マレーシアのマハティール首相、米国のカーター、クリントン両元大統領やイランのシリン・エバディ氏などのノーベル賞受賞者といった方々をお迎えしました (詳細は、高等研究所ホームページ <http://www.unu.edu/hq/japanese/UThant/UThant-j.html>)

### ロバート B. ラフリン博士について

- マサチューセッツ工科大学 (MIT) で博士号を取得。ロレンス・リバモア国立研究所勤務の後、1985年よりスタンフォード大学にて教鞭をとっています。
- 強磁場の下で電子が相互作用することによって分数電荷をもつタイプの「粒子」を形成し得ることを見いだしたことにより、H. L. シュテルマー教授 (コロンビア大学及びルーセント・テクノロジー・ベル研究所)、D. C. ツーイ教授 (プリンストン大学) と共同で1998年にノーベル物理学賞を受賞しました。
- 「分数量子ホール効果」に関連した業績により、米国物理学会より1986年オリバー・E・バックレイ賞、1998年フランクリン研究所メダルを授与されました。
- 現在、韓国科学技術院 (KAIST) 総長を務めており、韓国では、科学教育の改革の先頭に立っています。

日英同時通訳あり。尚、当日ご来場いただけない場合はインターネット上のウェブキャストとして生講演中又は後日ご覧いただくことができます。 <http://c3.unu.edu/unuvideo/>

取材ご希望の方は、国連大学広報部、担当：谷野 (やの) (TEL:03-3499-2811、03-5467-1311、FAX: 03-3406-7346; e-mail: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu)) または、国連大学高等研究所、担当：犬塚 (TEL:045-221-2306、FAX: 045-221-2302; e-mail: [inuzuka@ias.unu.edu](mailto:inuzuka@ias.unu.edu)) までご連絡ください。



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部 (東京) を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。